



校長室だより

5月号

学校教育目標「すべての子どもに生きる喜びと明日をつくる力を」
東大阪市立長瀬西小学校 松田至弘

本日(5/21)より二十四節気では、「小満」(しょうまん)にあたるそうです。その意味は草木が生き生きと成長し始め、間もなく満ち足りるという意味だそうです。長瀬西小学校の子どもたちもまさにその時期です。新年度も一か月が過ぎ、本格的な活動が始まっています。様々な活動に対して積極的に、意欲的に取り組んでくれています。そのうちのいくつかを紹介します。



5月1日快晴のもと、スポーツテストを行いました。6年生が中心となり、ハッピーフレンド班(縦割り班)でスムーズに実施することができました。



5月11日交通安全教室を行いました。警察官から直接、1年生は安全な歩き方、3年生は自転車の乗り方について教えていただきました。



4月23日『犯罪』『環境破壊』『公共マナー違反』これら三つをゼロにするために日夜子どもたちに啓発しながら地球環境破壊を目論む悪の組織と戦う正義のヒーロー「ゼロス」が長瀬西小学校にやってきました。



対象が1～3年生ということで高学年が参加できなかったことは残念でしたが、本当に迫力のあるアクションを披露していただき、子どもたちは大喜びでした。楽しみながら有意義な勉強をすることができました。

大阪府ゼロスで検索するとプロモーション映像も見ることができます。また機会があれば子どもたちとご覧ください

★ 社会見学に行ってきました

6年生は平和学習のために、ピース大阪に行きました。

全校遠足(大阪城公園)の下見もしてくれました。



4年生は水走ごみ処理場施設に行きました。ごみの量の多さに驚きました。ごみを減らすにはどうすればよいかを考えました。



★ 母国語学級開級式

5月11日宋伸貴(ソンシンギ)ソンセンニムをお迎えし、長瀬西小学校の母国語学級が正式にスタートしました。開級式では自己紹介の後、먼저드세요(モンジョトウセヨ)ゲームを教えてください、みんなで楽しみました。

経験も見識も大変豊かなソンセンニムがいっぱいでした。言葉や文化、習慣などみんなでしっかり勉強していきましょう。



ぼくがここに

まど みちお

ぼくが ここに いるとき

ほかの どんなものも

ぼくに かさなって

ここに いることは できない

もしも ソウが ここに いるならば

そのソウだけ

ママがいるならば

その一つぶのママだけ

しか ここに いることは できない

ああ このちきゅうの うえでは

こんなに だいに

まもられているのだ

どんなものが どんなどころに

いるときにも

その「いること」こそが

なににも まして

すばらしいこととして

誰もかれも、何もかもが唯一無二の存在として大切にされている。子どもたちにも感じてもらいたいものです。